

平成25年1月25日発行

第160号

こうふ町 議会だより

町勢

世帯数/1,124世帯
人口/3,361人
(平成25年1月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

12月定例議会	……………2P~3P
いっぱん質問 町政を問う	…4P~5P
地方行政調査	……………6P~7P
町内所管事務調査	……………8P~11P
議長行政報告	……………12P
私のひと言	……………14P



平成25年 巳年スタート！

(1月3日新春マラソン大会)

12月定例会

一般会計 739万円減額

予算総額 32億6167万円に

平成24年12月定例会は12月10日に招集され、会期は14日までの5日間と定めて開かれた。

今回の定例会には平成24年度の一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例の一部改正など13議案が提出された。

議会では、これらの議案について慎重に審議した結果、いずれも原案とあり可決した。

11日の本会議では、2名の議員が一般質問に立ち、町政について議論が行われた。



全国植樹祭カウントダウンリレー植樹

補正予算

一般会計

主な内容

◎総務費

(一般管理費)

121万円増額

(電算委託料他)

(過疎バス対策費)

150万円増額

高齢者生活交通確保支援事業

援事業

(財産管理費)

125万円増額

修繕料

(情報処理費)

253万円減額

(電算システムリース料他)

(選挙費)

115万円減額

(町長及び町議補欠選挙費)

◎民生費

(障がい者福祉費)

349万円増額

委託料・扶助費

(老人福祉費)

408万円増額

介護保険・後期高齢者

出金

(生活保護扶助費)

1450万円減額

◎衛生費

(母子衛生費)

52万円増額

妊婦乳幼児一般健康診査委託料

査委託料

(健康増進対策費)

144万円増額

その委託料

◎農業総務費

129万円増額

(職員手当て等)

◎労働費
 (緊急地域雇用対策事業費)
 78万円減額
 臨時職員賃金他

◎商工費

(観光・施設管理費)

34万円増額
 エコツーリズム国際大会負担金・修繕費

◎土木費

(道路維持費)

274万円増額
 道路修繕工事請負費他
 (交通安全施設費)

費

交通安全施設工事請負

◎消防費

(防災費)

13万円増額

◎教育費

(学校給食費)

259万円増額

システム導入委託料

◎諸支出金

(ふるさと応援基費)

160万円増額

ふるさと応援基金積立金



ふるさと納税「奥大山ギフト」

特別会計

▼国民健康保険特別会計
 (事業勘定)
 79万円減額

一般会計繰入

▼介護保険事業特別会計
 (保険事業勘定)
 1994万円増額

介護給付費負担金等

▼後期高齢者医療特別会計
 12万円増額

広域連合納付金等

▼江府町簡易水道事業
 147万円増額

簡易水道災害復旧費等

▼江府町米沢財産区特別会計
 4270万円増額

使用権付与地交付負担金等

専決処分

◆衆議院議員選挙費・最高裁判所裁判官国民審査委託金
 640万円増額

規約改正

鳥取県西部広域行政管理組合規約の一部改正

第1条

▼「障害者自立支援法」を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改める。

施行

平成25年4月1日から

第2条

▼「障害程度区分」を「障害支援区分」に改める。

平成26年4月1日から

財産の処分

▼米沢財産区所有土地処分

○江府町御机字笠良原の原野 34,574㎡をサントリー食品インターナショナル㈱に4219万円で売買する。サントリーは井戸用地として活用する予定。



奥大山ブナの森工場

あなたも議会を
 傍聴してみませんか

詳しくは議会事務局へ
 電話番号75-3307

一般質問

町政ここを問う

一般質問は2人の議員が行い、町長の方針をたじた

質問 小学校を統合してから、4年が経過しました。その間一部廃校舎の活用策として、明倫小学校の一部を、短期間業者に貸出されました。現在は校舎の一部を町内の卓球愛好グループが使用しています。俣野小学校については、今年11月から米子市の公益社団法人に教室の一部を開放して貸出しています。明倫小学校の場合は敷地の大部分が借地だという問題があります。将来的に校舎に付随する校庭を含め、

問 解体するのかわり活用するのかわり
答 拙速な決定は避けて慎重に対応する



宇田川 潔

廃校となった校舎の 今後の基本計画について

用地を買い取り年次計画で解体処分するのか、それとも用地はそのまま借地料を払い将来施設として活用するのか、町の方針が決まっています。米沢小学校も含め解体するのか活用するのか町長の所見を伺う。

町長答弁

廃校となりました校舎の利用につきましては、平成21年の小学校統合の際、役場職員による庁舎内検討会議を設置し具体的な活用案をまとめました。そして町民の皆さんの意見を参考に「定住対策と交流」を活用の基本的な利用計画として現在に至っているとところです。現在の各校舎の利用状況を申し上げますと旧米沢

小学校につきましては、各小学校に残っています資料や役場の公文書等を保管し、資料館として活用しております。旧俣野小学校につきましてはご指摘のとおりでありまして、今後は町の保健医療の拠点としての活用を検討しているところです。

旧明倫小学校ですがご指摘いただきましたとおり敷地の大部分が借地となっております。来年が契約更新の年度に当たりますので地権者の皆さんと今後の利用について協議して参りたいと思います。体育館のある場所は町有地ですので建物の解体処分は考えていません。借地を買い取るにしても、返還するにしても多額の財政負担を伴いますので

当初の活用案にもありま
すように拙速な決定は避
けて慎重に対応して参り
たいと思います。



旧俣野小学校



旧明倫小学校

林業・農地、農業用水の取組みについて 学校経営、中学校学級編成について



三輪 英男

問	林業の活性化は
答	補助事業を活用して取組む

質問 林業の課題と方向性、再生プランの活用について伺う。

町長答弁

国の計画にのっとり、一、平成23年度から平成31年度までの森林整備計画。二、平成22年度から平成26年度までの森林整備集約化計画、特定間伐等促進計画を策定。民有林並びに各種分収林における路網整備、間伐等実施しており、今後は新たに策定する森林経営計画により造林事業を行い、国の森林整備加速化・林



森林整備

業再生事業、県の緑の産業再生プロジェクト事業を活用し、民有林の間伐を積極的にを行い、町の分収林においては国の森林環境保全直接支援事業を含む県造林事業補助金により持ち出し間伐を行っております。今後の事業実施に当たっては、計画にそって、補助事業を積極的に活用し、林業の活性化に努めてまいります。

問	農地と農業用水、地域環境を守る取組みは
答	交付金制度の支援に向け周知を図る

質問 農地と農業用水や地域環境を守る取組みと農地・水保全管理支払い交付金の導入、活用について伺う。

町長答弁

農地、農業用水地域環境を守る取組みとして、「中山間地域等直接支払制度」をスタートして以来13年目を迎えています。平成19年度から23年度までの5力年の対策として「農地・水・環境保全向上対策」を開始した。水

問	学校経営と教育委員会は
答	機能を果たすよう工夫改善していく

質問 学校経営に対する教育委員会の関わり方とじめの問題、不登校問題に対する教育委員会の存在意義及び対応力について伺う。

教育長答弁

月1回程度定例の委員会を実施し、個別の案件について報告を受け、教育行政に関する議案について協議、また、管内の学校訪問を実施し、視察も受け入れています。いじめ・不登校問題については、未然防止・早期発見に取組んでいます。定期的に児童生徒の教育相

問	中学校の学級編成の問題点は
答	他町とも情報交換を密にして検討する

質問 生徒数の大幅な減少に伴う学級編成の問題点、日野郡全体の問題意識について伺う。

教育長答弁

生徒数の大幅な減少に伴う学級編成の問題点は日野郡全体の問題意識であります。部活等に支障をきたすことが予想されますが、メリットもあります。人数が少ない分、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が可能となり、子供たちの学習意欲や力を伸ばしていくには、小人数の方がよい場合があります。他町とも情報交換を密にししながら、よりよいあり方を検討していきたいと思っております。

談を実施し、教師と子どもが気軽に話せる場を設け、アンケートや日記などにより、児童生徒の理解を深めており、対応の充実に今後とも図ってまいります。

調査報告

(平成24年10月22日～24日)



被災した小学校

3・11東日本大震災 石巻市の震災から再生に向けて 宮城県石巻市

調査の概要及び結果

3・11東日本大震災の被災状況と復旧の取り組みについて

目的

3・11東日本大震災の被災状況と復興の道筋について把握すると共に江府町の災害対策と被災地支援に活かす。

概要

宮城県石巻市被災者ホランティア石巻水産 高橋さんに案内をして頂いた。

石巻漁港から広がる地域を中心に6.9mの大津波により生活地域・漁港関連施設すべてが飲み込まれてしまい、多くの尊い命が失われました。震災の犠牲となり、津波で住居を追われ、住宅建設の出来ない区域が荒野となつて広がっています。処理できない「がれき」が616万トン、使用できない車が山積みされ、いつになるのか処分を待っている現状を見せつけられました。少しずつ各自治体が、がれき処分の受け入れを行っています。が、終わりがいつになるかわからない状況です。しかし、復興への取り組みが、一歩一歩進んでいます。

《基本理念》①災害に強いまちづくり②産業・経済の再生③絆と協働の共鳴社会づくり

《計画期間》

復旧から再生そして発展期まで9年間の計画進む。

【考察】

厳しい現状を目の当たりにして、私たちも日本人として、「絆」を大切に東日本大震災の復興に力添えをしていかなければならない。

- ①復興支援で、被災地の産物の購入を積極的に行い産業再生に繋げていく事が必要である。
- ②転入希望などされる方に対して、積極的に受け入れる事が必要である。
- ③災害に強いまちづくりを行っていく必要がある。安心・安全なまちづくりに努めなければならない。



慰霊地

地方行政

地域ブランドでまちの活性化

環境王国の取り組みとブランド化について

山形県最上郡真室川町



調査の概要及び結果

環境王国と真室川ブランドの先進地に学び、奥大山ブランドの推進について

目的

環境王国の先進地で取り組んでいる地域活性化と、地域ブランド化の取り組みについて研修し、今後江府町の発展に活かす。

概要

環境王国と真室川ブランドの取り組みについて真室川町 産業課長 八鍬重一氏に説明を受けた。真室川町の基幹産業である農業では、消費者の健康・安全志向の高まりに対して、「安全・安心・本物」に付加価値を付けた環境保全型の農業の推

進に傾注されている。

地域ブランドの認定制度の確立を目指して、うるしの新規事業・促成山菜をはじめとする園芸作物の強化・地域産業の活性化の取り組みが行われ

ている。

「真室川ブランド」認定制度の活用について：認定をうける事で、産品の認定度向上やイメージアップに活かしていきたい。(認定マークの表示)



真室川町役場



道の駅

【考察】

環境王国にふさわしい、自然や地域の資源を活かした江府町独自の魅力や価値を高める必要がある。

「奥大山ブランド」で売出すためにも、生産者・行政・アドバイザー・コーディネーター・宣伝（伝える）等、しっかりと取り組まなければならない。

そのためには地域の内外で指示され、信頼を獲得し喜んでもらえるブランドをつくり、拡げていかなければならない。真室川ブランドには、米・野

菜・山菜・菌茸類・果汁・酒類・菓子・工芸品等ありますが、商流に乗せているようです。

総務経済常任委員会

調査日 平成24年11月7日

事務調査

行財政改革の進捗状況

平成23年度決算における実質公債費比率は19・6%となり昨年に比較し1・6%改善している。目標とする実質公債費比率18・0%にあと一歩となった。

これは、町長以下職員、議員の定数削減と給与カットを継続してきたことや投資事業の抑制、物件費の削減など歳出削減に取り組んできた結果であると共に、歳入において交付税が当初見込みより増えたことによるものである。

平成25年度は中学校建設(約13億円)、杉谷集落排水工事、洲河崎一下安井線工事等が予定されており、今後も将来の財政をにらみながら慎重に

財政運営に当たりたい。平成20年度から始まったふるさと納税制度は、4年間で27件であったものが今年度は、すでに71件(101万円)と急増している。職員による手

作りポスターやホームページでの呼びかけ、お礼の奥大山ギフトなどによるものである。納税者の動機を調査し、今後にかかしていただきたい。



笠原市民農園

奥大山ブランドの進捗状況

10月には、真室川町のブランドについて視察を行ったが平成20年から短期間で立上げている。

町長が変わり、選挙公約であったブランド化を実現するため、職員2名を2年間張り付けて実施させるほどの意気込みであった。

江府町においては、サントリーによりテレビ等多くのメディアで「奥大山」が発信され、議会として幾度となく「奥大山」ブランドの確立を要請したが、いまだほとんど進んでいない状況である。担当課と関連する課との内部調整など、まず組織作りから始める必要がある。町長の強力なリーダーシップが何より重要である。

今回、サントリー、グリーンステージ、サンエスと視察したが、各社とも「奥大山」のロゴを入れそれが商品価値を高めていると認識しており、



第2烏橋(御机地内)周辺

行政の「奥大山」ブランド確立を期待している。

第2烏橋周辺工事

平成23年9月3日の豪雨により、道路や橋の流失が発生し、一刻も早い復旧工事が望まれていた。

今年11月3日、第2烏橋が設置された後は、仮設の橋の撤去と法面工事等を残すだけである。

スキー場開きに十分間に合うので、奥大山スキー場の安全な操業と賑わいを願う。



(株)サンエス

株サンエス 奥大山水工場

約2億5千万円をかけ完成したサンエス奥大山水工場は、平成24年7月23日から本格操業に入った。「奥大山のおいしい水」の3ガロンボトルと10L、20Lのバックインボックスを生産している。

現在従業員は、本社より工場長1名の他は、地元江府町採用4名であるが今後の増産が順調にいけば5名程度の採用を予定している。

現在の従業員に対する評価は非常に高く、当委員会としても誇りに思うと共に、今後も地元採用をすべく要望した。

販売に関しては、他社との競合もあり厳しいが、本社からの応援も受け営業担当者を増員し、今後の販売強化を図っている。営業努力により計画を達成するよう願っている。

平成18年操業開始し安心・安全な「奥大山の水」を前面に押し出し、現在まで大きなトラブルもなく売上高、約10億円を推移し順調に操業している。

株グリーン ステージ



(株)グリーンステージ

従業員は12名で西部圏から10名、そのうち江府町は3名となっている。

冬季は極端に生産量が減る為、奥大山スキー場に2〜4名を派遣している。他社の安い商品と競争となっており、安心・安全な「奥大山の水」で特色

を打ち出し営業努力しており、今後業績が伸びる事を期待したい。

サントリー奥大山 ブナの森工場

平成19年操業開始し、消費者の安心な水需要の伸びと共に、業績を伸ばしている。

現在従業員は65名で江府町から正社員12名その他4名である。また、日本通運の従業員は40名でその内江府町から15名程度採用となっている。地元から約30名の雇用があり、また従業員の評価も高く、今後も地元採用を要望した。

第2工場については、①水環境評価委員会での承認
②増設用井戸用地の確保が可能
③天然水「奥大山」販売数量見込増大

この3点が条件だが、①と②はクリアしておりあとは販売量の動向である。現在の販売予測を見るとそう遠くない時期

と思われる。

サントリーにとっても西日本における「奥大山」のブランド力は大きい。

笠原ファーム

平成5年に建築された笠原ファームは、市民農園として営業して来だが、農園の借り手の減少により指定管理者を募集し江尾貨物によって運営されている。

いろいろ努力されているが、市民農園として運営するのは難しく、平成25年3月で指定管理契約を終了する意向である。

今回、サントリーを視察した際、笠原ファームをサントリーで利用出来ないか提案したが、今後どうするのか、早急に運営審議会で検討願いたい。



教育民生常任委員会

調査日 平成24年11月8日

「調査内容」

江府中学校

生徒数の動向は24年度27名が卒業し、25年度の入学は10名という状況である。

◎施設の状況

中学校の新設に向けて現在は設計段階であり、学校側の要望等、委員会で検討していただく。

◎生徒間の状況

いじめは特定の生徒を仲間はずれにしたり、無視したりするいじめがある。注意をしている。不登校は2名あり、現在家庭訪問を一週間に一回は行うようにしている。教員と生徒のコミュニケーションも大切にして行きたい。

◎学習状況は

学力的には西部でトップである。県下でも上位に位置する。

「考察」

委員会で7月の公開参観日に出席し、生徒の真剣な学ぶ意欲、姿勢に感心をする。

子供の国保育園

◎（今後の）子供の数の動向

24年25年度は人数は変わらないが、2歳児、1歳児、0歳児が増える傾向にある。

◎施設の状況

施設の改修により雨漏りもなくなった。遊戯室、保育室、廊下等に床のがれや、ベランダの傷み部分があり、改修の必要がある。器具の大半が、

30年を経過し厨房器具をふくめ検討、交換が急がれる。

◎通園状況

朝7時30分から長い時間の保育であり、疲れる園児もいる。

◎「特色ある保育」

環境保育、テーマ保育、プロジェクト保育、他に英語であそぼう。和太鼓、安全給食、避難訓練は月一回実施。
※最低基準でなく、ゆとりのある人的配置。

江府小学校

◎児童数の動向は。

平成24年は127名
平成25年は130名
平成26〜27年減少予想

◎通学状況

徒歩状況 徒歩通学28名
バス通学89名、安全への配慮して家庭、地域教職員、通学支援ボランティアで対応。

◎学習状況

1、2年生のまちたんけん。3年生町内めぐり。4年生、森と水の学校。5年生、米作り。6年生、人権学習。

◎学校からの要望

引き続き学習支援員の配置をお願いしたい。

「考察」

チロル学級、特別支援員学級も増え、学習支援



江府小学校ランチルーム

員の配置が望ましい。普通教室、チロル教室のクラー設置を考慮されたい。プール建設から40年経過している。長期展望を持つて対処する時期にあると考える。

学校給食をいただきましたが、ごはん、牛乳、いりごうぶ、カミカミかきあげ、かぶの即席漬。大満足の食事でした。

「福祉保健課」

・生活保護：平成21年度江府町は保護率は3・94、全国では16・6、県では12・4。
児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当とも、わずかではあるが該当者数、支給額も増えている。生活保護受給者は高齢者が多く、入院、通院が多いため医療扶助が増える傾向にある。

・江尾診療所

職員体制
医科 医師 1名
看護 看護師 4名
歯科口腔外科



医師 1名
歯科衛生士 3名
歯科衛生助手 1名
歯科技工士 1名
事務職
医科 6名
歯科 2名
計 19名
・診療科
内科、外科、整形外科、歯科口腔外科、生活習慣病外来、循環器外来
もの忘れ外来については月に2回実施。
診療報酬及びレセプト件数を比較すると22年から24年については、いずれも減少傾向にある。歯科についても同様である。

【陳情等の審査報告と意見書提出】

採 択

◎原子力から再生エネルギーへのエネルギー源の転換を求める陳情。

【意見書提出】衆・参両議院議長。

◎妊婦健診とヒブ、小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2011年度と同水準の公費助成を国に求める意見書提出の陳情。

【意見書提出】衆・参両議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣

趣旨採択

◎島根原発1・2号機の再稼働反対と3号機の建設凍結を求める陳情

不採択

◎年金2.5パーセント削減中止を求める意見書の陳情。

一方、町内はもとより、町外、県外からの患者も増えている。高齢化がすすみ、一人の患者と向き合う時間が長くなるので（診療待ち時間が長くなる）、在宅介護力も低下している現状で、高齢化地域の診療は多少赤字が出て継続することが重要であると実感した。診療所の器具等について

では万全である。
「考察」
平成9年の診療所着任以来15年になる武地医師は、地域医療に向き合っていたら、町民誰れが感謝している。
この上は2名の常勤医師体制を、少しでも早く確立を願う努力を望むものである。

議会改革調査特別委員会

地方自治法の一部改正にともない、議会改革調査特別委員会を開催し審議した。

議会委員会条例一部改正

主な改正を抜粋

▽特別委員会の設置

○特別委員は、委員会に付議された事件が議会において審議されている間に在任する。
「委員の選任」
○議員は、少なくとも一の常任委員となるものとする。
○常任委員・議会運営委員及び特別委員の選任は議長の指名による。
○委員が辞任しようとするときは、議長の許可を得なければならない。
議会会議規則一部改正
▽公聴会開催の手続
○公聴会を開こうとするときは、議会の議決でこれを決定する。

○議長は前項の議決があったときは、日時、場所及び意見を聴こうとする案件その他必要な事項を

公示する。
○公聴会に出席して意見を述べようとする者は、あらかじめ理由及び案件に対する賛否を、議会に申し出なければならない。「公述人の決定」
○公述人の決定はあらかじめ申し出た者及び他の者の中から議会で定め議長は、本人に通知する。
○賛成・反対がある場合一方的に偏らないように公述人を選ばなければならない。

○公述人の発言は案件の範囲を超えてはならない。不穏当な言動があるときは議長は制止、又は退席させる事が出来る。
○議員は公述人に質疑は出来るが、公述人は議員に対して質疑は出来ない。
○公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は文書で意見を提示する事は出来ない。ただし、議会が特に許可した場合はこの限りではない。

○参考人の出席を求める場合議会で決定し、議長が必要事項を通知する。

議長行政報告

平成24年10月26日～11月16日

西部広域行政管理 組合議会定例会

日時 10月26日
場所 米子市淀江支所
管理組合議会議員15名、
管理者10名、関係者8名
出席

主な議案

平成23年度鳥取県西部
広域行政管理組合、条例
制定と一般会計の決算認
定について。原案のと
り承認された。一般会計
歳入決算額57億8千1百
万円、対前年度15・9%
減、歳出57億2千5百万
円、対前年度比で16・2
%減。

鳥取県後期高齢者 医療広域連合議会

日時 11月12日
場所 湯梨浜町東郷
支所

議会議員22名出席
主な議案

平成23年度一般会計歳
入歳出決算の認定につい
て、医療特別会計歳入歳
出決算の認定について、
原案のとおり承認した。

一般会計歳入決算額4千
4百万円、歳出決算額4
千2百万円。特別会計歳
入決算額708億8千2
百万円、歳出決算額70
7億3千4百万円。

国会議員との 要請会

日時 11月13日
場所 東京「全国町村
会館」

本県出身国会議員出席、
県内町村議長17名、県町
村議長会 西川会長(智
頭町議長)挨拶の後、意
見交換した。

全国町村議会議長 全国大会

日時 11月14日
場所 東京NHK
ホール

全国の町村議会議長な
ど関係者1700人が出
席し開催された。「真の
分権型社会の実現を目指
して」をメインスローガ
ンに(豪雪地帯町村議会



町村議会議長全国大会

議長全国大会を併せて開
催) 課題「東日本大震災、
地方分権改革、道州制、
社会保障制度改革、TP
P、地方交付税及び自動
車関係諸税」等主張を決
議し、最後に「私ども町
村議会では、それぞれの
地域の自主・自立の精神
をもって地域振興を図る
ため、議会自らの改革・
活性化に努め、住民の信
託に十分応えられる議会
としていくと決意をした。

ふくしま復興・ 応援視察

日時 11月16日
場所 福島県相馬市

目的 被害状況と
復興の現状・沿岸
の被災地見学、仮
設避難者との懇談。
①画像と資料によ
る被害状況と復興
に向けての説明
②沿岸の被災地、
瓦礫集積場の見学
③仮設避難者との
懇談

(南相馬市、飯館



相馬市放射線測定器

村、浪江町、双葉町、4
地域6人の方々)
市内は震災や津波で4
75名(うち殉職消防団
員10名)が犠牲。住宅被
害5584棟。住民は津
波の恐怖を感じながら必
死に避難したとの被害体
験。仮避難先を転々とし
た「一瞬にして暮らしの
全てを奪われた」との話
など。今なお被害の爪痕
深い沿岸部をはじめとし
て、原発事故など見えな
い実害・風評被害に苦し
んでおられる中、復興に
向けて着実に一歩ずつで
はありますが、歩みだし
ているように感じました。



改修のまたれる清化園

日野病院組合報告

主な事項を記載して
います。

1. 個人情報保護条例の一部改正（亡くなった本人の代理である遺族の範囲を定めている）
2. 近々の営業損益について良好な収支である。
3. MRI更新次年度予定。

日野町江府町日南町衛生施設組合報告

◎汚泥再生処理施設整備
については、《リン回収》《高効率脱水（助燃化）》を行う施設を採用する予定である。

第4回 議会報告会

[商工会青年部・江府町青年団・JA若手職員のみなさん]

元気なまちづくりに活発な
意見をいただきました。

平成24年11月20日、江尾駅舎の会議室で江府町の若者“青年”のみなさんを対象に議会の取り組み、平成23年度の決算の状況について説明しました。

参加していただいた各団体の青年のみなさんと「江府町のまちづくりについて」意見交換し、大変参考になりました。

主な意見

問 少子化の進捗中、中

学校建設はどうなっていますか？

答 今の中学校は耐震に問題があり、「中学校のあり方委員会」でしっかりと議論され、中学校教育は将来の江府町が元気になる源であり、そのために建設を決めた。

問 少子化対策をどう考えていますか？なかなか職場も少ない、住む場所が少ないですがどう考えていますか？



話し合い風景

答 ○国も一番の問題ととらえ、江府町も子育て支援に力を入れています。

○誘致企業へ優先的に就職をお願いする。

○就職先を米子圏までみて、支援をしていく必要があるのではないかと。

○結婚しても子育て、教育に関して、江府町はすばらしいと言われるようにしなければならぬ。

江府町青年団から

平成25年2月10日(日) 街コン(ダブル)in奥大山」が開催されます。詳細は江府町ホームページを参照下さい。

江府町の将来をしっかりと見つけている若者にエールを送り、みんなに応援していきましょう。

又、機会をもらえて、交流しましょう。

お詫び

前回発行議会だより
の決算審査報告で、「特別養護老人ホーム(チロルの里)」に対して誤解を招くような記載をした事をお詫びします。

ひと言

江府町に嫁いできて…

宮市 長岡 圭子

私が江府町に嫁いできて6年が経ちました。何もわからない私は、方言の違いや相手に上手く伝わらないことで悩みました。友達もいなくて寂しい想いをした時もありましたが、職業訓練校に通うようになり今でも連絡を取り合う友達に出会うことが出来ました。また、色々なことを学ばせていただきました。

月日が流れ嬉しいことに私は今、二人の娘（3歳、1歳）がいます。お姉ちゃんはおてんば盛りで毎日大きな声が家中に響いています。また、可愛いものや踊ることが大好きなお姉ちゃんは、保育園で練習してきた踊



りを少し恥ずかしそうに踊って私たちを笑顔にさせてくれます。それを観ている妹は手を叩いて拍手をしたり、一緒に遊ぼうと一生懸命です。

私も娘が産まれてからお友達が増えました。子育ての悩みやアドバイスをもらって、とても仲良くさせてもらっています。本当に嬉しく、有難いことです。

そして、何より感謝をしていることは、右も左もわからない私を受け入れてくれた夫とお母さんです。いつも助けてくれてありがとうございます。これから先も感謝の気持ちと優しい気持ちを忘れずにしたいと思います。娘たちにも、この気持ちが伝わるように子育てをしていきたいです。

「冬コン」に向けて



佐川 高津 亮二

江府町青年団が再発足してから早1年2ヶ月がたちました。僕が最初に目標としていたのが、集まり語り合える環境を作るということでした。

町内、町外関係なく呼んだところ20人近い人が江府町青年団に来てくれました。初めての取り組みに對してすごく協力的でイベント企画、町の行事への参加、1ヶ月に1回ペースで出来たのもみんなのお陰なくしては出来ませんでした。

この1年、上の段広場でお花見企画、小学生対象の夏休みキャンプなどイチからイベント企画をして「いい企画だね、こ

ういうの待ってたよ」と予想以上に喜んでいただきそれがすごく自分達の活力になりました。

都会にはたしかに人も多いし、遊ぶ所もあるし、便利だと思う、じゃあ江府町のいい所って何か？その逆だと僕は思う。二丁に出来るんじゃないかと、ありのままの江府町を紹介する、そして一番大事なのは、一人一人が楽しもうとする気持ちじゃないかと思えます。

来たる2月10日、奥大山スキー場で街コンイベント「冬コン」を開催することになりました。中国地方の男女20人对20人で江府町の自然風情、味を感じながら、友達作りから恋人探しまでステキな出会いを提供する企画です。町内のみなさまにさまざまな形で協力いただき、それに応えられるよう現在35名の団員達が満足していく時間を作れない中ですが、自らが参加したくなるような楽しい企画設計を練りに練っております。

今後とも江府町青年団一同明るく楽しくがんばっていきますので、よろしくお願いします。



◆去る12月16日衆議院議員選挙で自民党が大勝。翌17日には自民党本部は様変わり警視庁の車が7台で厳重な警備、一方民主党は1台です。与党の幹事長に石破茂衆議院議員が再任され、大変おめでとうございます。心からお祝い致します。

◆昨年も各集落の神社では、新嘗祭が行われました。新米が収穫され村人が一同に集いおにぎりを食べお祝いしました。食に感謝の心が一番です。主食の自給こそ日本の安全保障だと思います。

◆経済の低迷、TPP等政治課題が山積しています。地方への予算配分を手厚くしていただき中山間地域の活性化に石破幹事長、赤沢代議士に期待するところです。

森田 智

議会広報調査特別委員会

- 委員長 川上 富夫
- 副委員長 森田 智
- 委員 川端 雄勇
- 委員 田中 幹啓
- 委員 日野尾 優